都市計画の見直しに向けた検討について

資料　都－3

- ✓ 人口減少・高齢化の進展が見込まれる中でも、将来にわたり暮らしやすさを維持するため“多核連携都市” を都市構造の将来像として位置づけ
- ✓ 令和7年度の各種都市計画の見直しに向け、今年度から土地利用方針の検討や立地適正化計画の評価・分析、都市圏交通の実態調査等を実施

1.都市計画の全体構成

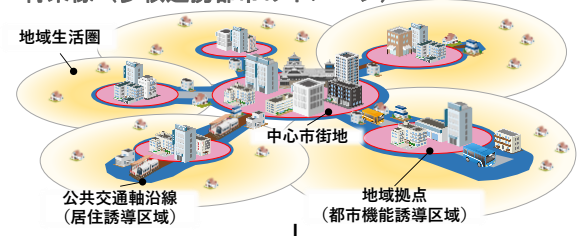
□ 県の都市計画区域マスタープランや本市の総合計画に即し、都市計画に関する基本的な方針として「熊本市都市マスタープラン（H21.3）」を策定

上位計画

都市計画区域マスタープラン　**熊本市総合計画**

即する

熊本市都市マスタープラン
［都市計画に関する基本的な方針］
■将来像（多核連携都市のイメージ）



＋
■分野別の基本的な方針（土地利用、都市交通　等）

都市マスタープランの一部とみなされる実行計画

熊本市立地適正化計画
［住宅や都市機能の立地の適正化を図るための計画］
■居住誘導区域
■都市機能誘導区域
■誘導施設　等

即する

連携・整合

個別の都市計画
区域区分、地域地区、都市施設、　等

関連計画
都市交通マスタープラン　等

「多核連携都市」の実現

2.現状及び課題

□ 令和2年度の国勢調査結果で初めて本市の人口が減少。

□ 土地利用の実態など最新の調査・分析結果を反映しつつ、新たな生活様式や頻発・激甚化する自然災害、産業進出などを踏まえた都市計画が求められる。

3.都市計画の見直しに向けた今年度の主な取組

（次期都市マスタープランの策定）

□ 「土地利用方針検討委員会」を設置し、人口減少・超高齢社会や産業用地の確保、災害リスク等に対応した土地利用方針について検討。

（立地適正化計画の見直し）

□ 都市機能や住宅の立地動向、住民意向等に関する調査・分析を行い、目標値の達成状況の評価や課題の解決策等を検討。

（次期都市交通マスタープランの策定）

□ 熊本都市圏交通に関する実態調査（パーソントリップ調査※）や将来の交通需要予測を行い、交通ネットワークの将来像等を検討。

※熊本都市圏（熊本市を中心とする5市6町1村）の住民を対象に、誰が、いつ、どこに、何の目的で、どのような交通手段で移動したかについてアンケート調査を行い、1日の移動をとらえるもの。

4.スケジュール（案）

R3	R4	R5 4月	7月	１０月	１月	R6	R7
都市計画基礎調査		●土地利用方針の検討　等				都市マスタープラン検討（立地適正化計画含む） ●将来像、分野別方針　等	
		●立地適正化計画の調査、分析、評価　等					
				●パーソントリップ調査（R5秋頃予定）等		都市交通マスタープラン検討 ●交通ネットワーク像　等	
		検討状況等を適宜、議会や都市計画審議会へ報告					

都市マスタープラン・区域区分等の変更